

平成29年5月臨時教育委員会 会議録

1 開催期日 平成29年5月9日(火)
開会 午前 8時57分
閉会 午前 9時30分

2 開催場所 役場 2階 会議室

3 出席者名 委員長 諸橋 志津子
委員 原田 光雄
委員 宮下 静子
委員(教育長) 布施 東雄
(委員 不二井 悟史) 欠席

局長 菅谷 吉晴
局参事 泊 昌司
次長 荒木 秀人
係長 朝倉 恵子

4 議 件

議案第15号 障害等のため教育上特別の支援を要する者について
協議第7号 区域外就学について

5 議事の経過について

事務局の進行により、教育長から町(郡)学校教育研究会についての報告があり、会議録署名員に原田委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、議案第15号及び協議第7号について説明があり、質疑応答が行われ、了承及び決定されました。

* 主な質疑・応答等について

5月 臨時教育委員会議事録

－ 委員長挨拶 －

皆さん、おはようございます。

事務局におかれましては、昨日も郡学校教育振興会総会等、様々な学校に係わる新学期ならではの業務が多いと思いますが、粛々と進めていただき、本当にありがとうございます。

今日お集まりいただきましたのは、喫緊の課題が出てきましたので、本日、臨時教育委員会を設けさせていただきます。時間も切迫していますので、始めさせていただきます。よろしく願いいたします。

－ 教育長報告 －

5月2日に本来は穴水町学校教育研究会として催すつもりでしたが、郡の校長協議会でお話が出、急遽、鳳珠郡学校教育研究会と称して、國學院大学人間開発学部の杉田洋教授をお迎えしまして、講演の内容が「子どもがよりよく育つ学級力・教師力ーアクティブ・ラーナーの育成を目指してー」ということで、先生の教師としての原点である学級経営と、最近の教育の変化に伴う教育改善の方向性等も踏まえた教師力ということで講演をいただきました。杉田先生は、前職が文部科学省の教科調査官であられ、その前には特別支援担当で活躍された方で、クラス経営や特別活動の事例を映像も含めて2時間30分に渡って熱い言葉で話をしてくださいました。それを聞いている穴水の小中学校の先生方、能登町の先生方、全部で150名ほど集まっていたのですが、感激をしてすすり泣きが聞こえるというふうな素晴らしい講演会であったかと思っていますし、このような講演を聞いて感動して涙するという先生方が沢山いるということが、まだまだ大丈夫というか、捨てたもんじゃないなという感想を持ちましたし、先生方もベテランも若手も改めて子ども達のためにこれからも頑張ろうという気持ちが出たのではないかと思います。杉田先生は石川県へは何度も見えているのですが、奥能登へは今回初めてで、その夜に会を持ちまして、先生から直接アドバイスを受けたりしていました。たいへん良かったというのが感想です。

以上です。

諸橋委員長 委員の皆さん、よろしいですか。

では議事に入ります。

－ 議事 －

事務局長 議案第15号「障害等のため教育上特別の支援を要する者について」説明

朝倉係長 (詳細説明)

諸橋委員長 委員の皆さん、お話を聞きたいところはありますか。

宮下委員 診断が3つ出ていて、特別支援学級であっても生活は大丈夫ですか。

(途中省略)

諸橋委員長 原田委員、いかがでしょうか。

原田委員 適切な対応だと思います。

諸橋委員長 この件に関しまして、よろしいでしょうか。
自閉症・情緒障害の特別支援学級で対応願います。
では、次に協議をお願いいたします。

事務局長 協議第7号「区域外就学について」説明

(途中省略)

諸橋委員長 区域外就学につきましては、決定でよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

諸橋委員長 情緒のクラスの中で安定してくればよいですね。

(途中省略)

諸橋委員長 では、その他ですが、何かありますでしょうか。
無いようですので、これで臨時教育委員会を終わりたいと思います。
たいへん重い案件でしたが、教育長始め事務局の対応により早急な措置ができて良かったです。事務局におかれましては、今後ともよろしくお願いいたします。

以 上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
